

新田地域づくり計画

～みんなで考え住みよい新田を創ろう！！～



2014年3月

新田地区コミュニティ推進協議会

目次

第1章	新田地区の概要	・・・	1
第2章	計画の目的	・・・	2
第3章	計画作成組織の構成	・・・	2
第4章	計画の役割と目指すもの	・・・	3
第5章	計画の期間	・・・	3
第6章	計画の評価	・・・	3
第7章	計画の構成	・・・	4
第8章	実行の組織と運営	・・・	4
第9章	行動計画	・・・	5
資料	地域づくり計画 策定経過	・・・	8
	策定委員会の様子	・・・	9
	地域づくり計画策定委員名簿	・・・	16



策定にあたって

平成25年6月に地域づくり計画策定委員会を立ち上げ、新田地区の皆さんからアンケートのとりまとめを行い、9回ほどの策定委員会を開催致しました。

地域の方々にいただいた課題を多く取り入れながら検討し実施スケジュールを短期・中期・長期等に分け、地域の協力により様々な課題を解決し、よりよい地域にするために計画を策定致しましたので、地域の皆さん及び団体・企業等の一層のご指導とご協力をお願い致します。

平成26年3月

新田地区コミュニティ推進協議会

会長 新田 清

第1章

新田地区の概要(面積と人口推移)

年 齢	0～14歳	15～29歳	30～44歳	45～59歳	60～74歳	75歳以上	計
現在(平成24年3月)	350	491	555	774	871	747	3788
	9%	13%	15%	20%	23%	20%	100%
10年後予想	8%	11%	13%	14%	25%	29%	100%
					60歳以上	54%	

新田地区の面積は32.48K㎡、人口はピーク時の昭和30年頃の半減、世帯数は微増で核家族化が顕著。現在60歳以上は43%を占めているが、10年後は54%と予想され、新田地区の人口の半分以上を占め、想像以上のスピードで高齢化が進んでいる現状である。



第2章

新田地域づくり計画の目的

新田地区の様々な課題や地域資源・特性を探し出し、その課題の克服と恵まれた地域資源・特性を生かした取り組みを検討し、自分達の理想とする地区の姿を実現する地域づくりを効率的に進めるための指針として、地域づくり計画を策定します。

近年、急速に進む少子高齢化等社会情勢は大きく変化してきています。これに伴い、住民一人ひとりが抱える様々な課題にこれまでのように行政が提供してきた公平で画一的な公共サービスでは対応できなくなってきており、これからの安心で安全な社会生活を送る為には地域に根差した地域コミュニティの力が、必要不可欠な時代となってきました。

そこで、地域住民や団体、法人などの民間団体や企業、行政がそれぞれ役割分担し協力しあうことで、細かな生活課題に対応し、よりよい地域をつくるため、地域づくり計画を策定するものです。

第3章

新田地域づくり計画作成組織の構成

- ・新田地区コミュニティ推進協議会 会長・副会長
 - ・新田地区コミュニティ推進協議会 文化・体育部会長
 - ・新田地区行政区 区長
 - ・行政区より1名(区長推薦)
 - ・伝統芸能伝承・コミュニティ団体 合計 33名で構成
- ※人員名簿は資料編参照

第4章

計画の役割と目指すもの

新田地域づくり計画は、まず地域の課題や身近な地域資源・歴史・文化・魅力を探りだし、その地域の魅力を活かしながら、地域の課題解決の為に方策を検討し、併せて新田の将来像を示し、新田地区の今後の進むべき方向性を示す計画である。

新田地域づくり計画策定会議は、各行政区より選出された策定委員の意見、住民アンケート等を計画書に反映させ、誰が、何を、どのように進めていくかを具体的に示し、地域で出来ることは地域で、あるいは行政と助け合いながら、自分達の意思と責任において地域の運営が出来る、自立した新田地区を目指します。

第6回登米市の未来新聞コンクール 最優秀賞 新田中学校1年

第5章

計画の期間

平成26年から10年後の将来像をもとに5年間とします。

但し、必要に応じて見直しを行います。



第6章

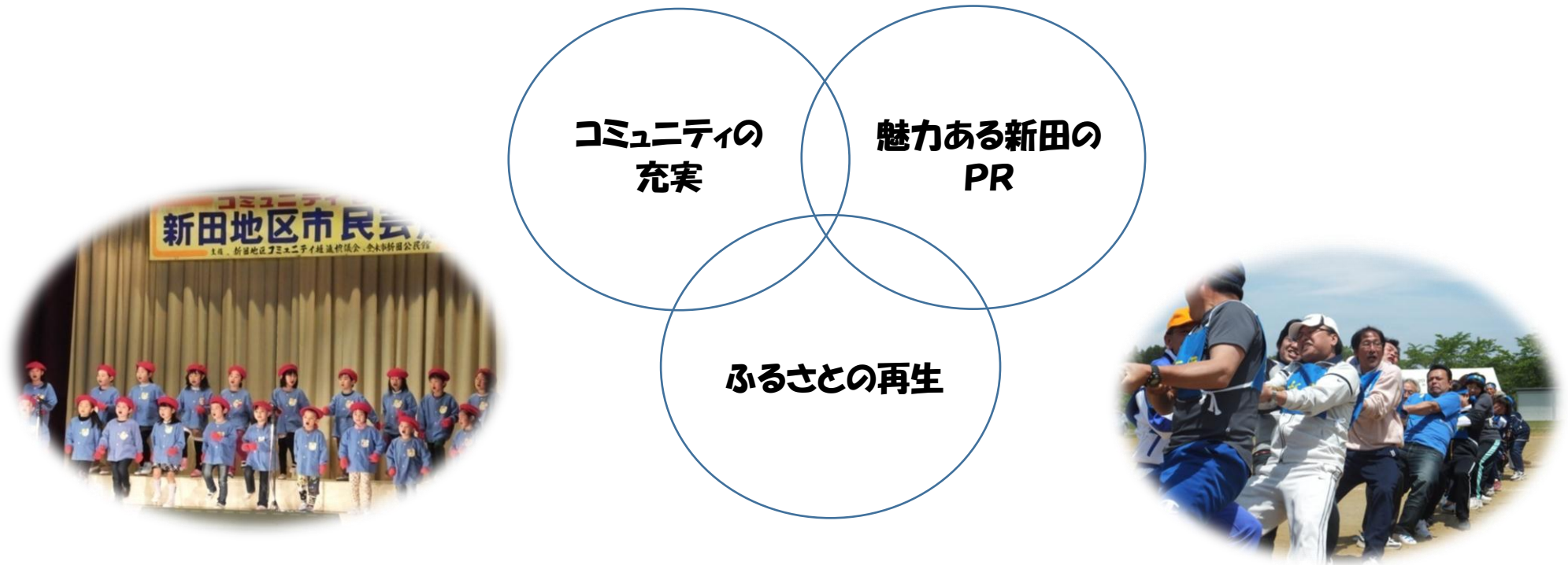
計画の評価

この計画に基づき、事業実施されたものの成果や目標達成度を、年度ごとに評価し次年度の事業計画に反映します。

評価は、アンケートや事業実施後の自己評価及び相互評価による評価方法で実施します。

第7章 計画の構成

この計画では、生活課題を大きく下記の3つの分野に分け、それぞれに解決する為の事業を掲げています。



第8章

組織と運営

目的を達成するために、行動計画を作成しその計画の実現を図るため組織を作り運営して行きます。

組織作りの基本的な考え方

- ① トップランナー地域・区を選定し、ここに資源を集中しここをモデルにして課題を解決する。
- ② 組織運営に関わる人は、広く地域に応募を募り人選する。
- ③ 地域に根差した活動団体・企業とも連携し進めて行く。

第9章
行動計画

取り組み実施事例 実施スケジュール/コミュニティ・行政・住民の役割分担

『みんなで考え住みよい新田を創ろう!!』 行動計画

課題(テーマ)	地域づくりの基本方向 (キーワード)	すぐ出来ること・できそうなこと・将来目指すところ (例えば…)	トップランナー行政区・参画 協同団体等	○検討、●実施			●主体、○支援		
				実施スケジュール			役割分担		
				3年	5年	10年	コミュニティ	行政	その他
コミュニティの充実	地域の安全	危険個所を洗い出し安全な地域に	倉崎行政区	●	●	●	●	○	
		事故防止対策の実施(台風による倒木・除雪・安全施設)		●			●	○	
		自主防災組織の充実を図り自立の精神	山ノ神行政区	●			●	○	○
		防犯・避難のマップ作り	倉崎・山ノ神行政区	●			●		
		地域安全パトロールの実施	防犯・交通安全協会	●			●	○	
		地域活動による環境整備	立戸・駒林・品ノ浦・茂栗・ 山ノ神・坂戸保全会組織	●			●	○	○
		危険な所に歩道の設置	交通安全協会	○	○	●	●	●	
		暗い所を明るく防犯灯設置	防犯協会	○	●		●		
	生涯学習の充実	学校との連携により体育祭・芸能祭・地域行事の実施	こども会育成会・小・中学校	●			●	○	○
		古き良き伝統の継承の推進	山ノ神行政区	○	●		●	○	○
		コミュニティスクールの推進	小・中学校	●			●	○	○
		各種団体への活動支援によるコミュニティ活性化	長生会・婦人会	○	●		●	○	○
	交通網の整備	JRとの連携による住民バスの有効利用	区長会	○	●		●	●	
		JR駅の駐車場の整備	区長会	○	●		●	●	
栗原市との交通機関の利便性		区長会	●			●	●		
道路の整備		区長会			●	●	●		

取り組み実施事例 実施スケジュール/コミュニティ・行政・住民の役割分担

『みんなで考え住みよい新田を創ろう』行動計画

課題(テーマ)	地域づくりの基本方向 (キーワード)	すぐ出来ること・できそうなこと・将来目指すところ (例えば…)	トップランナー行政区・参画 協同団体等	○検討、●実施			●主体、○支援		
				実施スケジュール			役割分担		
				3年	5年	10年	コミュニティ	行政	その他
魅力ある新田の PR	伝統・文化の継承	行事の中で伝統芸能を披露しPR	柳生心眼流・山ノ神神楽・鹿踊り	●	●	●	○		●
		新田の史跡めぐりで新たな発見	新田あるもの探し会	●	●	●	○		●
	新田ブランドの確立	簡易野菜直売所の設置で地産・地消	地域企業	○	○	●	○	○	●
		環境保全米・仙台牛・味噌・椎茸・赤豚等のPR(松島・仙台駅等観光地へ出向く)	地域企業	○	○	●	○	○	●
		玉葱栽培、珥米供給等の拡大	山ノ神・茂栗行政区	●	●	●	○	○	●
	6次産業・後継者不足解消・人材育成	JAとの連携により加工・販売まで6次産業化を目指す	JA	○	○	○	○	○	●
		魅力的な人材を育成		○	○	○	○	●	○
	地域おこしと活動支援	景勝池の掘り起こしツアー・マップ作り	伊豆沼農産、JR駅、サンクチュアリセンター	●	●	●	○	●	
		景勝地等への看板設置とPR		●	●	●	○	●	
		芸能祭等イベントの活性化		●	●	●	●	○	●
		美味しい”新田のはっと”のPR	婦人会	●	●	●	●	○	●
		長沼の北側地区にイベント広場の設置		○	○	●	○	●	○
		駅と長沼・伊豆沼観光ルートマップの作成	地域企業		●	●	●	○	○
	植栽等推進活動	スマイルサポーター	坂戸ワワ-街道倶楽部	●	●	●	○	○	●
		水仙ロード	茂栗保全隊	●	●	●	○	○	●
		観光農園(ブルーベリー)	地域企業	●	●	●	○		●

取り組み実施事例 実施スケジュール/コミュニティ・行政・住民の役割分担

『みんなで考え住みよい新田を創ろう』行動計画

課題(テーマ)	地域づくりの基本方向 (キーワード)	すぐ出来ること・できそうなこと・将来目指すところ (例えば…)	トップランナー行政区・参画 協同団体等	○検討、●実施			●主体、○支援		
				実施スケジュール			役割分担		
				3年	5年	10年	コミュニティ	行政	その他
ふるさとの再生	ゴミのない地域	ポイ捨て禁止の看板設置(鳥居)	立戸・品の浦行政区	●	●	●	●	○	
		ゴミの多い場所に花壇を作る		○	○	○	○		
		綺麗なゴミステーション(写真コンテスト)	茂栗行政区	●	●	●	●		
		地域パトロールの実施	立戸行政区	●	●	●	●	●	
		草刈りと草が生えない工夫	立戸行政区	●	●	●	●		
	沼を綺麗に	釣り人へのマナー啓発看板設置	漁協	○	●		○		●
		白鳥・ハス祭りの拡大	漁協、登米市観光協会	○	●		○		●
	農地・水保全活動組織の拡大・補助金の有効利用	立木伐採・除草		●			●	○	
		外来種の駆除活動	立戸・駒林・品の浦・茂栗・山ノ神・坂戸保全会組織	●			●	○	
		耕作放棄地の有効活用		●			●	○	
		鳥・害虫駆除活動		●			●	○	
	空き家の有効活用	空き家と空き地を利用した定住促進或いは休日農園		○			○	○	○
	新田地区で伝わってきた古き良き行事の継承	経験から学ぶ良き伝統	新田長生連	●			●		

資料編

新田地域づくり計画 策定経過

No.	月 日	会議等	内 容
1	平成25年 6月20日	コミュニティ会長・副会長、館長会議	「地域づくり計画策定支援交付金」制度に取り組む事を確認、推進役員候補を決定
2	6月27日	推進役員(候補)会	「地域づくり計画策定支援交付金」制度の取り組みについて又、これに取り組むことを確認
3	7月5日	コミュニティ常任委員会	「地域づくり計画策定支援交付金」制度の取り組みについて取り組むことの承認、推進役員の承認、策定委員の選出等について
4	7月16日	策定委員選出	区長推薦により各行政区1名の策定委員選出
5	7月22日	コミュニティ会長・副会長、館長会議	「地域づくり計画策定支援交付金」制度の取り組みについて
6	7月30日	推進役員会	推進役員と講師による事前打ち合わせ
7	7月30日	第1回策定委員会	市民活動支援課より「地域づくり計画」策定趣旨説明、策定委員紹介、講師に足立先生を迎えて「地域づくり計画」の話し合いを進める。
8	8月6日	推進役員会	第2回策定委員会の事前打ち合わせ
9	8月6日	第2回策定委員会	5班体制でワークショップにより地域課題の抽出作業
10	9月2日	推進役員会	第3回策定委員会事前打ち合わせ
11	9月2日	第3回策定委員会	アンケートについて、地域課題の抽出作業
12	9月9日	住民アンケート実施	アンケート配布
13	9月25日	推進役員会	第4回策定委員会事前打ち合わせ
14	9月25日	第4回策定委員会	アンケート及び策定委員の意見集約を5分類に集約する作業
15	10月15日	推進役員会	第5回策定委員会事前打ち合わせ
16	10月15日	第5回策定委員会	アンケート及び策定委員の意見集約を5分類に集約する作業
17	10月28日	推進役員会	取り組みにトップランナー方式を取り入れる
18	11月18日	推進役員会	第6回策定委員会事前打ち合わせ
19	11月18日	第6回策定委員会	課題解決のための取組計画・方法の検討
20	12月17日	推進役員会	第7回策定委員会事前打ち合わせ
21	12月17日	第7回策定委員会	課題解決のための取組計画・方法の検討
22	平成26年 1月10日	第8回策定委員会	課題解決のための取組計画・方法の検討
23	1月20日	第9回策定委員会	地域課題の行動計画のまとめ作業及び策定委員会の案を決定
24		推進役員会	『地域づくり計画』最終確認
25			
26			

第1回策定委員会

「ワークショップ研修会」

テーマ：自分の地域で困っていること、自分の地域でよそに誇れることなど



5班に分かれて、意見を
どんどん書き出していきます。



1班の発表です。



2班の発表です。



3班の発表です。



4班の発表です。



5班の発表です。

第2回策定委員会

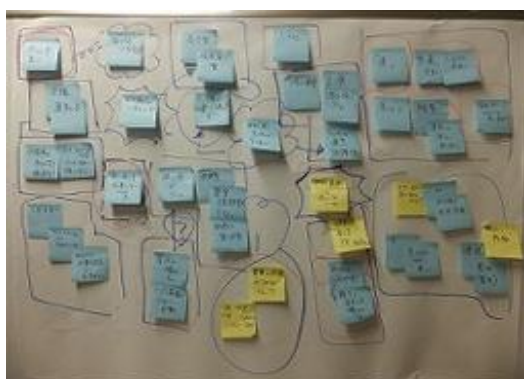
「ワークショップによる地域課題の洗い出し」



5班に分かれて、地域の課題・問題について話し合っているところです。



講師の足立先生のお話です。



策定委員さんの意見をカードに記入し、同じ意見ごとに区分け作業します。



1班の発表です。



2班の発表です。



3班の発表です。



4班の発表です。



5班の発表です。

第3回策定委員会

「ワークショップによる地域資源の洗い出し」



5班に分かれて、地域の「資源」について話し合っているところです。



講師の足立先生のお話です。



1班の発表です。



2班の発表です。



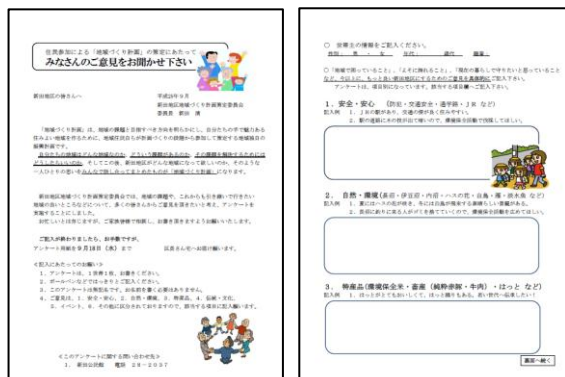
3班の発表です。



4班の発表です。



5班の発表です。



アンケートの内容について、話合いました。

第4回策定委員会

「アンケートで寄せられた意見を確認」



住民の皆さんから寄せられた意見について確認作業をしているところです。



足立先生から進め方について、アドバイスを貰っています。

・班毎に、取り組むテーマを決めました。

1班⇒安全・安心、2班⇒自然・環境、3班⇒特産品 4班⇒伝統・文化、5班⇒イベント

第5回策定委員会



5班に分かれて、住民の皆さんから寄せられた意見について話し合っているところです。



第6回策定委員会

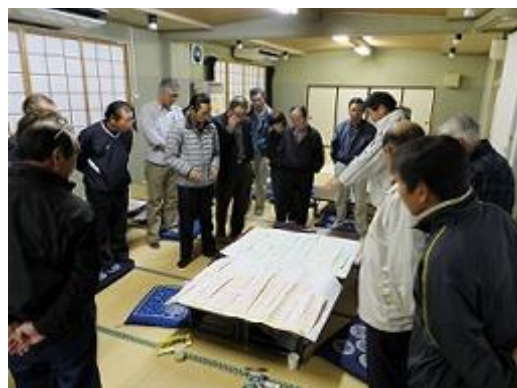
「アンケートで寄せられた意見の集約作業」



住民の皆さんから寄せられた意見の集約作業です。



足立先生からアドバイスを貰いながら意見の集約作業です。



集約作業が終了した後、各班の発表風景です。

第7回策定委員会

「具体的な取り組み内容の検討」



足立先生も思わず力が入ります。



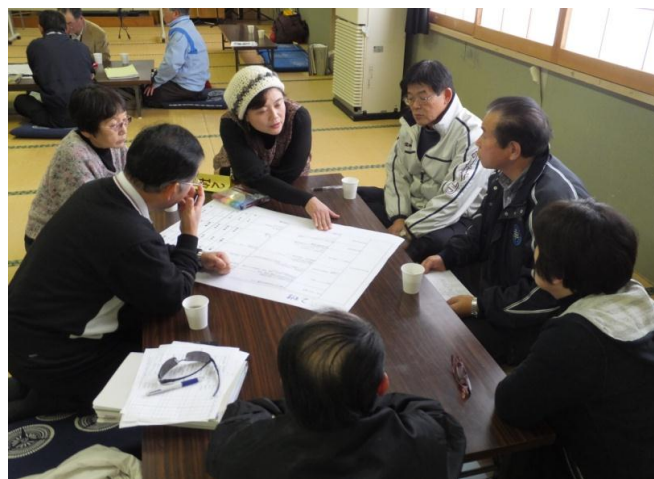
具体的な計画作りを話し合います。



これまでの意見集約の結果、新田地区地域づくり計画の3本柱「コミュニティの充実」「魅力ある新田のPR」「ふるさとの再生」が決定しました。

第8回策定委員会

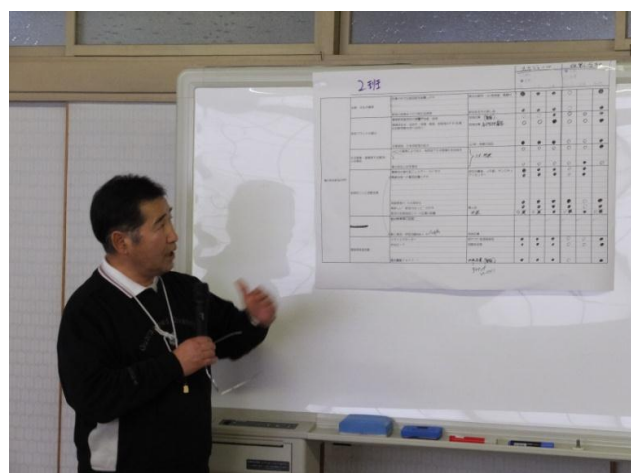
「行動計画について検討」



班に分かれて、具体的な計画作りを話し合います。



1班「コミュニティの充実」について
計画の発表です



2班「魅力ある新田のPR」について
計画の発表です



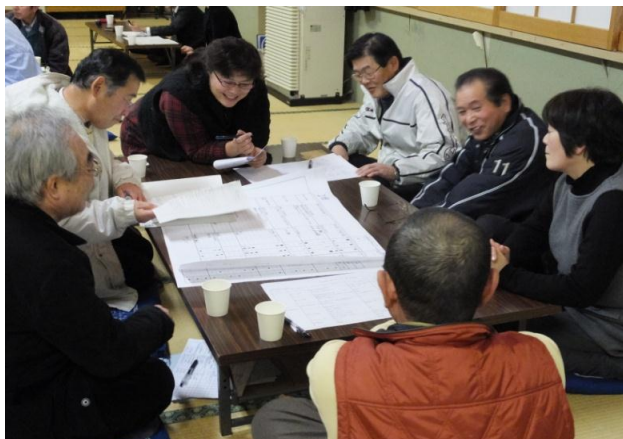
3班「ふるさとの再生」について
計画の発表です



足立先生のご指導

第9回策定委員会(最終)

「行動計画について再確認」



具体的な計画作りを話し合います。

～各班から、最終まとめ発表～



「コミュニティの充実」のためには・・・



「魅力ある新田のPR」のためには・・・



「ふるさとの再生」のためには・・・



足立先生から、これから新田地区が取り組んでいく地域づくりの方向性について、ご講義いただきました

地域づくり計画策定委員名簿

	氏名	行政区	コミュニティ役職・行政区選出	コミュニティ団体名
1	新田 清	山ノ神	会長	
2	千葉 良一	立戸	副会長	
3	高橋 信子	倉崎	副会長	新田婦人会長
4	田崎 敏雄	駒林	文化部長	新田防犯協会会長
5	星 栄一	茂栗	体育部長	新田野球協会会長・新田防犯協会役員
6	千葉 和弘	立戸		子ども会育成会長・新田防犯協会委員
7	笠原 貴代子	駅前		新田婦人会役員
8	千葉 芳樹	立戸	行政区選出	
9	千葉 雄幸	駒林	行政区選出、代議員	
10	高橋 武彦	板橋	常任委員	
11	高橋 龍一	板橋	行政区選出	
12	星 昭男	大浦	常任委員	
13	星 義昭	大浦	行政区選出	
14	澤田 拓雄	菱の倉	常任委員	新田防犯協会委員・交通安全協会役員
15	但木 みつよ	菱の倉	行政区選出	
16	石川 良	品ノ浦	常任委員	
17	高橋 正喜	品ノ浦	行政区選出	
18	遊佐 吉信	茂栗	常任委員	
19	星 憲郎	茂栗	行政区選出	
20	石川 齋	小友	常任委員	
21	小林 富雄	小友	行政区選出、代議員	
22	佐藤 廣夫	大形	常任委員	新田防犯協会委員
23	及川 宣和	大形	行政区選出	
24	三浦 勝	山ノ神	行政区選出	
25	佐藤 正道	倉崎	常任委員	
26	高橋 修	倉崎	行政区選出、体育振興員	
27	石川 法夫	駅前	常任委員	
28	高橋 正人	駅前	行政区選出	
29	星 勘司	坂戸	常任委員	
30	及川 昭吾	坂戸	行政区選出	
31	高橋 章一			山ノ神神楽代表・防犯協会役員
32	大場 勘一			鹿踊り代表
33	星 徳一		コミュニティ役員	心眼流代表
アドバイザー		NPO法人 まちづくり政策フォーラム 理事 足立 千佳子		